第148回

2022. 1. 25

企業経営動向調査

公益財団法人　徳島経済研究所

調 査 目 的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対 象 企 業	県内主要企業 289社、回答企業 178社、回答率 61.6%
調査対象期間	2021年10～12月期の実績見込み、2022年１～３月期および４～６月期の予想
調 査 時 点	2021年12月上旬～下旬

要　約

2021年10～12月期の業況判断（季節調整済）は改善
先行き2022年１～３月期は改善、４～６月期はやや改善する見通し

県内企業（全産業）経営動向調査結果によれば、業況判断 BSI（季節調整済）について、2021年７～９月期と比べ2021年10～12月期（前期→当期：△21→△10（＋11ポイント））は改善した。なお、前回調査時の予想（△13）と比べてもやや改善している。業種別でも、製造業（同：△20→△９）、非製造業（同：△22→△10）とともに改善した。10月には新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きによって自粛ムードが緩和し、個人消費などで持ち直しの動きがみられたことが要因として考えられる。

なお、売上げ BSI（同：△15→１）は改善、収益 BSI（同：△14→△12）はやや改善した。

先行きの業況判断 BSI は2022年１～３月期予想は△３、続く４～６月期予想は１と、ともに改善する見通しとなっている。なお、アンケート実施時点では、年初以降の新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染急拡大は見通しに織り込まれていないため、高めの予想となっている可能性が考えられる。

2021年10～12月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期と比べ3.0ポイント上昇し、総投資額は約896億円で同334.9％の大幅増であった。業種別では、製造業が同368.6％増、非製造業が同27.1％増とともに増加しており、製造業については率・額とも本調査を開始した1985年以降、最も高い結果となった。一方、先行き2022年１～３月期の計画は、実施企業の比率は前年同期より0.2ポイント低下、総投資額は約119億円で同27.4％減、４～６月期は、約171億円で同41.6％減と前年比マイナスが続く見込み。

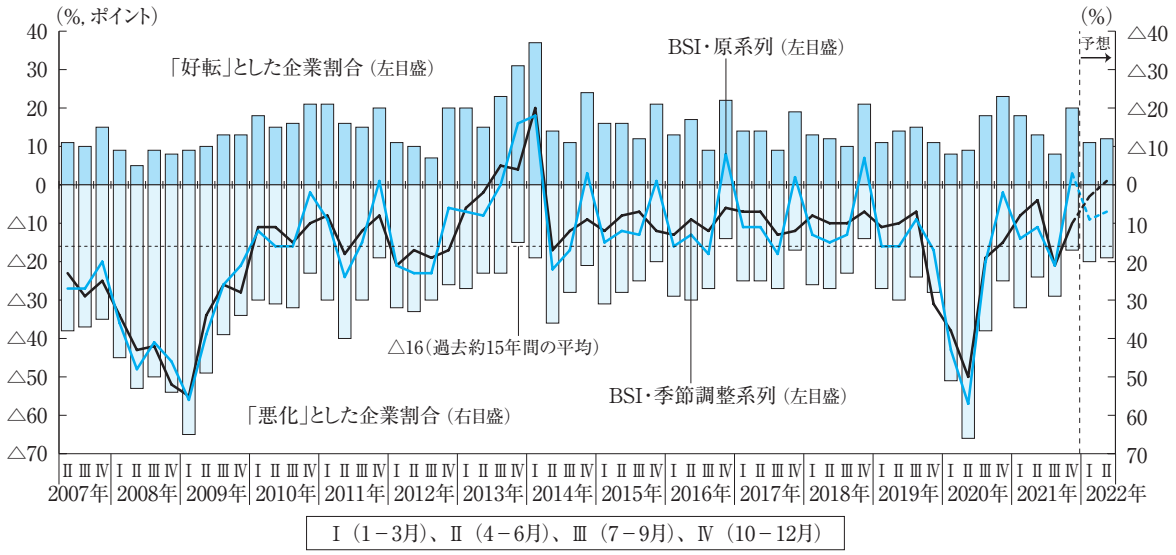
なお、今後１年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業、非製造業ともやや改善している。

1．概　況（全業種）

【2021年10～12月期の実績見込み】　**業況判断は前期から改善**

県内企業の当期（2021年10～12月期、以下同じ）のBSI（業況が「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を引いた数値（季節調整済））をみると、前期と比べ、収益BSI（△14→△12）、売上げBSI（△15→１）、業況判断BSI（△21→△10）とすべての項目で改善した。10月には新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きによって自粛ムードが緩和し、個人消費などで持ち直しの動きがみられたことが要因として考えられ、業況判断BSIは前回調査における予想（△13）と比べてもやや改善した。

企業経営者による業況判断



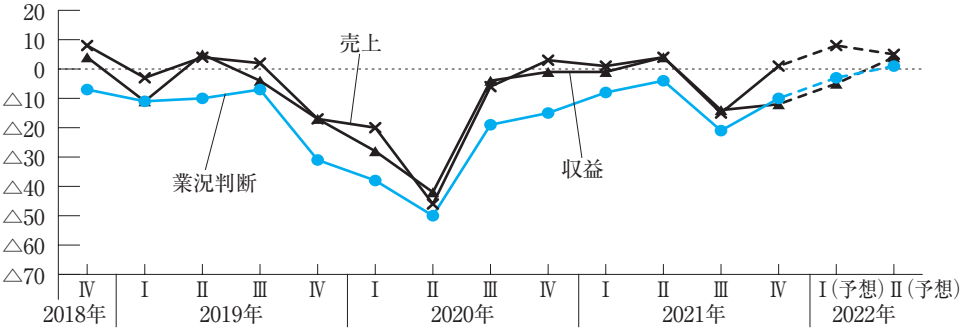
Ⅰ（1－3月）、Ⅱ（4－6月）、Ⅲ（7－9月）、Ⅳ（10－12月）

注：季節調整は、米国センサス局開発のX-12-ARIMAにより実施

【2022年１～３月期・４～６月期の予想】　**業況判断は１～３月期は改善、４～６月期はやや改善の見通し**

2022年１～３月期の予想は、2021年10～12月期に比べ収益BSI（△12→△５）、売上

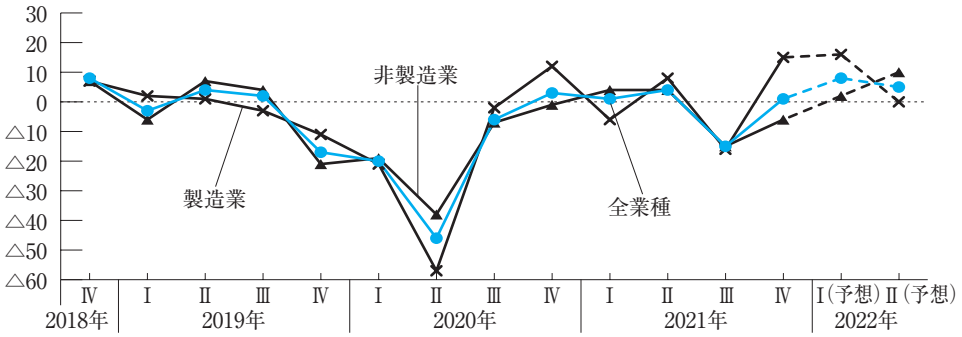
全業種ＢＳＩ



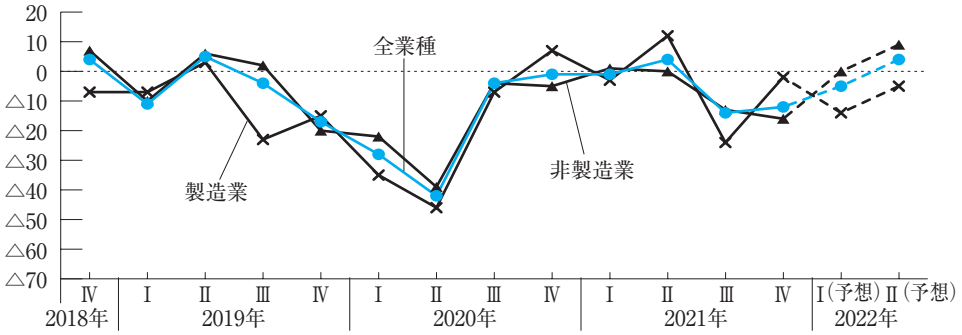
げBSI（1→8）、業況判断BSI（△10→△3）はともに改善の見通しである。なお、この業況判断BSIは、過去約15年（2007年1～3月期以降）の平均（△16）を上回る水準である。続く4～6月期は、売上げBSI（8→5）はやや悪化の一方、収益BSI（△5→4）、業況判断BSI（△3→1）はともに改善する見通しである。

アンケート調査時点では新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていたほか、ワクチン接種率の高さも安心材料となり、改善を見込む企業が増えている。もっとも、年初以降のオミクロン株の感染急拡大は見通しに織り込まれていないことには注意する必要がある。

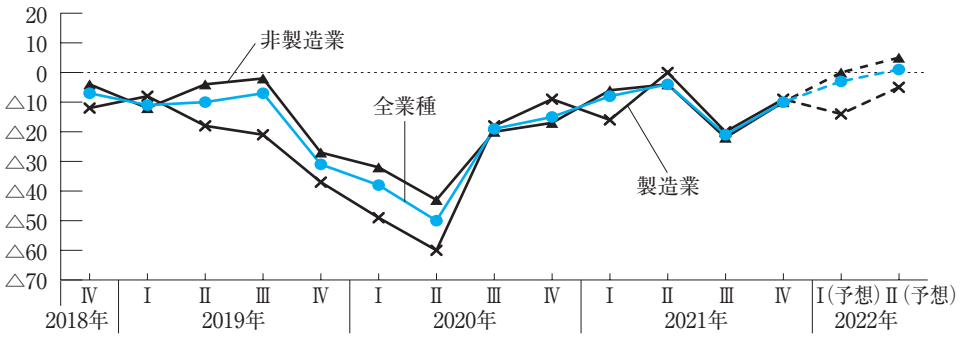
(1)　売上げＢＳＩ



(2)　収益ＢＳＩ



(3)　業況ＢＳＩ



２．製造業の動向

【製造業の現状】　**収益、売上げ、業況判断 BSI とも大幅に改善**

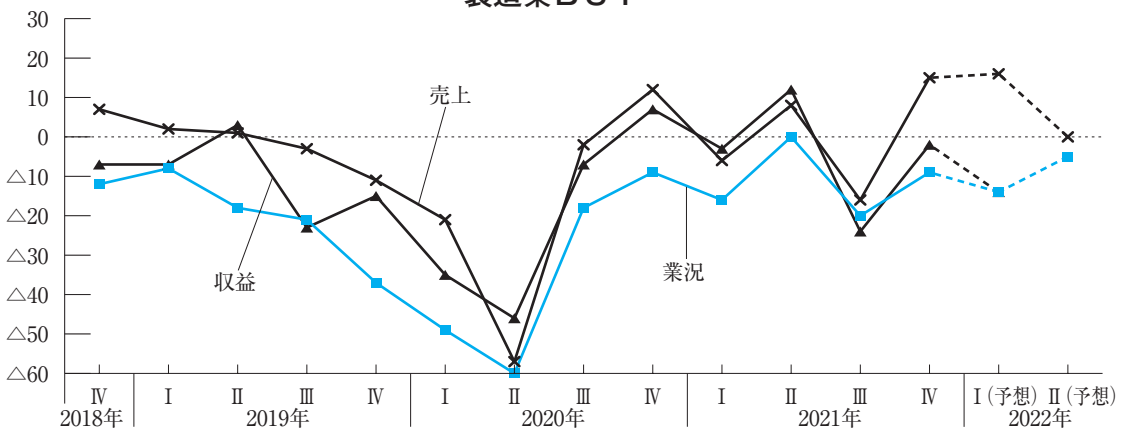
当期は、前期と比べ、収益 BSI（△24→△２）、売上げ BSI（△16→15）、業況判断 BSI（△20→△９）はともに大幅に改善した。業況判断 BSI については、悪化と回答した企業が改善をやや上回ったものの、業種によってばらつきが見られ、明暗が分かれる形となった。

【先　行　き】　**業況判断 BSI は2022年１～３月期は悪化するも、４～６月期は再び改善の見通し**

2022年１～３月期の予想をみると、当期に比べ、売上げ BSI（15→16）はほぼ横ばいの一方、収益 BSI（△２→△14）、業況判断 BSI（△９→△14）は悪化となっている。続く４～６月期の予想は、１～３月期に比べ、売上げ BSI（16→０）は悪化するものの、収益 BSI（△14→△５）、業況判断 BSI（△14→△５）はともに改善する見通し。

業況判断 BSI については、資材高騰や半導体不足などの影響がみられる。また、アンケート実施時点では、新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染急拡大は想定外だったと考えられ、先行きに対する捉え方は変化していると予測される。

製造業ＢＳＩ



３．非製造業の動向

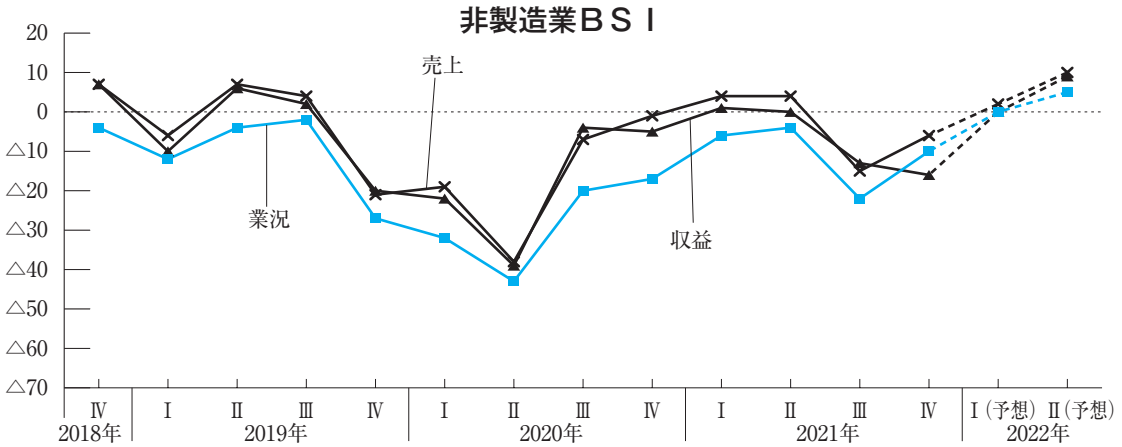
【非製造業の現状】　**収益 BSI はやや悪化の一方、売上げ BSI および業況判断 BSI は改善**

当期は、前期に比べ、収益 BSI（△13→△16）はやや悪化したものの、売上げ BSI（△15→△６）、業況判断 BSI（△22→△10）とともに改善した。業況判断 BSI については、とくしまアラートや飲食店に対する時短営業要請が解除されるなど、自粛ムードが和らいだことで、小売業やサービス業をはじめ、多くの業種で改善した。

【先　行　き】　**収益、売上げ、業況判断 BSI は、2022年１～３月期、４～６月期とも改善が続く見通し**

2022年１～３月期以降の予想をみると、先行きの推移（当期→2022年１～３月期→４～６月期）は、収益 BSI（△16→０→９）、売上げ BSI（△６→２→10）、業況判断 BSI（△10→０→５）と改善が継続する見通し。

業況判断 BSI の改善については、アンケート実施時点では、新型コロナウイルス感染状況が落ち着いていたことなどがプラスに作用している一方で、年初以降はオミクロン株の感染が急拡大しており、先行きに対する不透明感は強まっていると推測される。

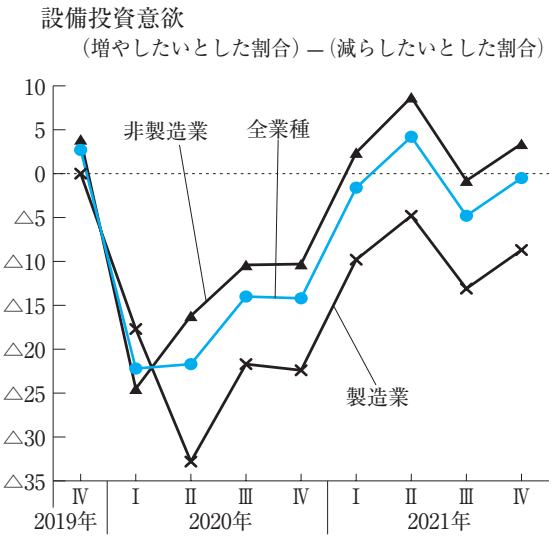


４．設備投資の動向

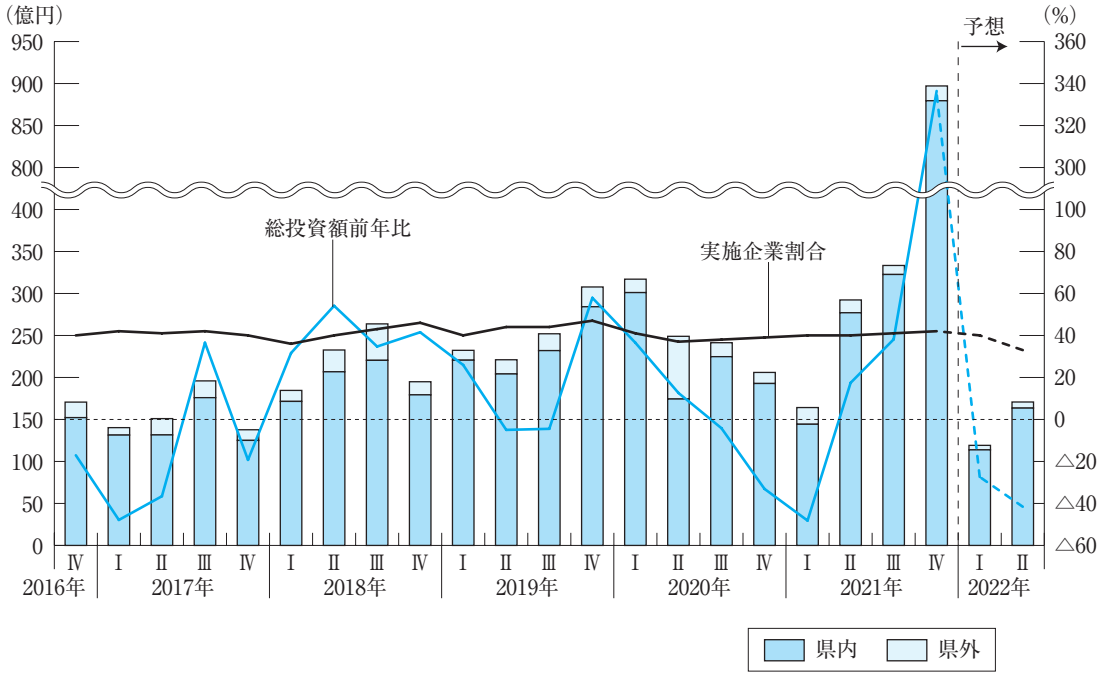
回答企業（全産業）のうち、2021年10～12月期において１百万円以上の設備投資（新リース契約を含む）を実施した企業は全体の41.6％、総投資額は895億93百万円（県内投資額は879億12百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は、全体で334.9％の大幅増（前期比168.7％増）で、内訳は、製造業が同368.6％増、非製造業が同27.1％増であった。製造業については、率・額とも本調査を開始した1985年以降、最も高い結果となった。なお、実施企業の割合は、3.0ポイント上昇となった。

先行きの計画をみると、2022年１～３月期の実施企業割合は39.9％で前年同期より0.2ポイント低下、総投資額は約119億円で前年同期比27.4％減、続く４～６月期の総投資額は約171億円で同41.6％減となる見込み。

今後１年間の設備投資意欲（全産業）は、「増やしたい」が16.9％、「減らしたい」が17.4％、「ほぼ変わらない」が65.7％であった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率は、全産業で△0.5ポイント（前期△4.8ポイント）と２期ぶりに上昇した。業種別では、製造業が△8.7ポイント（同△13.1ポイント）、非製造業が3.4ポイント（同△0.8ポイント）とともに上昇している。



設備投資額（支払ベース）



製　造　業

当期に１百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、58.6％で前年同期より6.9ポイント上昇した。総投資額は、870億９百万円（前年同期185億67百万円）で、大手の化学、電気機械などで増加したことを主因に前年同期比368.6％の大幅増となった。うち、県内投資額は857億13百万円（同176億39百万円）となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「環境対策」、「新規事業」、「研究開発」の比率が低下した一方、「合理化・省力化」、「増産・拡販のため」、「既存設備の補修更新」は上昇した。

先行きの計画をみると、2022年１～３月期の総投資額は約80億円で前年同期比44.2％減、続く４～６月期は約142億円で同48.5％減の見込みである。

今後１年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合（17.2％）が「減らしたい」（25.9％）を8.7ポイント下回り、８期連続のマイナスとなった。

非 製 造 業

当期に１百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、33.3％で前年同期より0.8ポイント上昇した。総投資額は、25億84百万円（前年同期20億33百万円）で、卸売業を除く幅広い業種での増加がみられ、同27.1％増となった。県内投資額は21億99百万円（同16億45百万円）となっている。

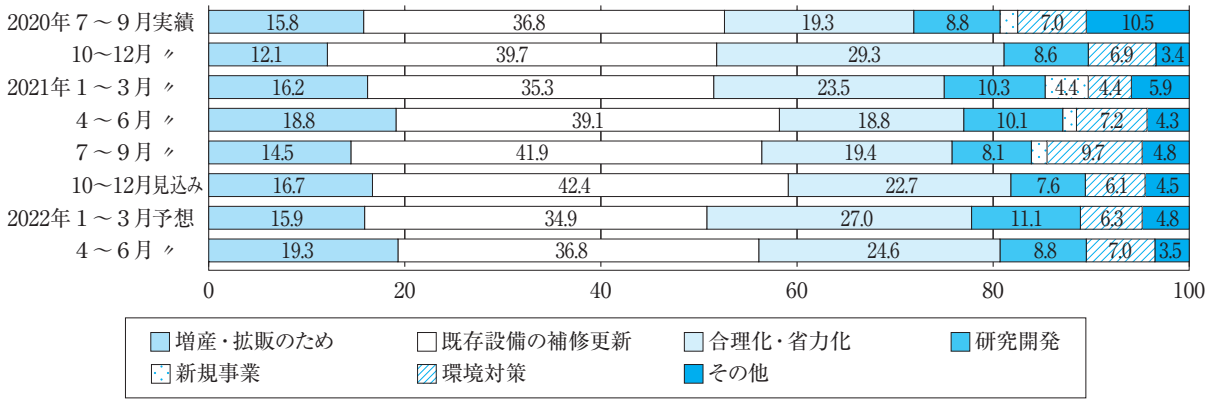
目的別にみると、前期と比べ、「新規事業」、「合理化・省力化」、「既存設備の補修更新」の比率が低下した一方、「拡販のため」、「店舗等の移転」が上昇した。

先行きの計画をみると、2022年１～３月期の総投資額は約40億円で前年同期比83.4％増、続く４～６月期は約29億円で同77.5％の増加となる見込み。

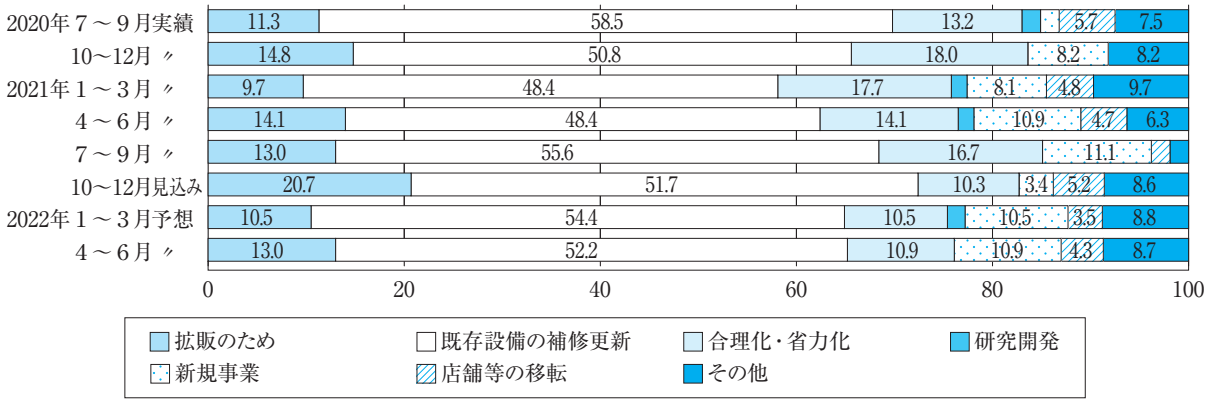
今後１年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合（16.7％）が「減らしたい」（13.3％）を3.4ポイント上回り、２期ぶりにプラスに転じた。

設備投資の目的

(1) 製　造　業



(2) 非 製 造 業



（複数回答）

回答企業の概要

（社）

		総　数	製造業	非製造業
資本金規模	１百万円未満	0	0	0
	１～３百万円未満	0	0	0
	３～５百万円未満	2	0	2
	５～10百万円未満	5	2	3
	10～50百万円未満	101	29	72
	50～１億円未満	44	17	27
	１億円以上	26	10	16
	計	178	58	120
従業員数	10人未満	19	3	16
	10～ 30人未満	30	11	19
	30～ 50人未満	36	12	24
	50～100人未満	36	8	28
	100～200人未満	22	6	16
	200～300人未満	16	7	9
	300～	19	11	8
	計	178	58	120

（社）

業　種		回答
製造業	食料品	12
	繊維製品	3
	木材・木製品	8
	パルプ・紙	3
	化学工業	8
	窯業・土石	2
	機械・金属	15
	その他	7
	計	58
非製造業	建設業	16
	運送業	12
	卸売業	29
	小売業	28
	サービス業	34
	その他	1
	計	120
総　数		178

参考資料

ＢＳＩ

(1) 業況判断

（単位：%，ポイント）

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2020年４～６月実績	9	25	66	△57	△50	8	22	70	△62	△60	9	28	63	△54	△43
７～９月　〃	18	44	38	△20	△19	20	37	43	△23	△18	18	46	36	△18	△20
10～12月　〃	23	52	25	△ 2	△15	26	52	22	4	△ 9	21	53	26	△ 5	△17
2021年１～３月　〃	18	50	32	△14	△ 8	16	46	38	△22	△16	19	52	29	△10	△ 6
４～６月　〃	13	63	24	△11	△ 4	16	65	19	△ 3	0	12	61	27	△15	△ 4
７～９月　〃	8	63	29	△21	△21	5	65	30	△25	△20	10	61	29	△19	△22
10～12月見込み	**20**	**63**	**17**	**3**	**△10**	**26**	**53**	**21**	**5**	**△ 9**	**18**	**66**	**16**	**2**	**△10**
2022年１～３月予想	11	69	20	△ 9	△ 3	9	62	29	△20	△14	12	72	16	△ 4	0
４～６月　〃	12	69	19	△ 7	1	14	64	22	△ 8	△ 5	12	70	18	△ 6	5

(2) 売上げ判断

（単位：%，ポイント）

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2020年４～６月実績	15	20	65	△50	△46	18	15	67	△49	△57	13	23	64	△51	△38
７～９月　〃	32	30	38	△ 6	△ 6	35	23	42	△ 7	△ 2	32	32	36	△ 4	△ 7
10～12月　〃	45	32	23	22	3	57	22	21	36	12	40	36	24	16	△ 1
2021年１～３月　〃	27	32	41	△14	1	21	23	56	△35	△ 6	30	37	33	△ 3	4
４～６月　〃	30	40	30	0	4	42	34	24	18	8	24	43	33	△ 9	4
７～９月　〃	23	39	38	△15	△15	23	33	44	△21	△16	23	42	35	△12	△15
10～12月見込み	**40**	**40**	**20**	**20**	**1**	**57**	**26**	**17**	**40**	**15**	**32**	**47**	**21**	**11**	**△ 6**
2022年１～３月予想	20	52	28	△ 8	8	24	38	38	△14	16	18	59	23	△ 5	2
４～６月　〃	22	58	20	2	5	33	46	23	10	0	17	63	20	△ 3	10

(3) 経常利益判断

（単位：%，ポイント）

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2020年４～６月実績	14	22	64	△50	△42	16	19	65	△49	△46	12	25	63	△51	△39
７～９月　〃	31	31	38	△ 7	△ 4	33	25	42	△ 9	△ 7	30	35	35	△ 5	△ 4
10～12月　〃	41	34	25	16	△ 1	50	24	26	24	7	37	38	25	12	△ 5
2021年１～３月　〃	28	37	35	△ 7	△ 1	28	28	44	△16	△ 3	28	41	31	△ 3	1
４～６月　〃	26	43	31	△ 5	4	35	39	26	9	12	21	45	34	△13	0
７～９月　〃	20	43	37	△17	△14	18	39	43	△25	△24	21	45	34	△13	△13
10～12月見込み	**30**	**45**	**25**	**5**	**△12**	**47**	**22**	**31**	**16**	**△ 2**	**23**	**55**	**22**	**1**	**△16**
2022年１～３月予想	19	51	30	△11	△ 5	19	34	47	△28	△14	18	60	22	△ 4	0
４～６月　〃	16	63	21	△ 5	4	19	55	26	△ 7	△ 5	15	66	19	△ 4	9

（注）ＢＳＩ＝(好転)－(悪化)

公益財団法人徳島経済研究所　徳島市西船場町 2-12 阿波銀行第２別館４階
TEL088-652-7181　FAX088-625-3818　https://www.teri.or.jp